2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	鍼灸美容学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	基礎鍼灸実技Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	実習室
担当教員	副田　恵子	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

①身体の異常反応を正確に捉え、安全な刺鍼・施灸を行うことができる。　②特殊鍼法の技術を学び、状態に応じて使うことができる。
③手技により刺激量の調節を行うことができる。
　全身への鍼灸施術を繰り返し行うことで技術を高め、様々な反応点への施術により、刺激量を調節しながらどのような効果が現れるかを体感し、特殊鍼法を学んだ後、2年生における臨床実技の基礎を磨く。

《成績評価の方法と基準》

平常評価20点(片手挿管トライアル5点・灸トライアル5点、灸頭鍼チェック5点、通電チェック5点)　＋　実技試験80点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

配布プリント

《授業外における学習方法》

1年次に行った直刺、斜刺、横刺を繰返し練習し、刺入深度・角度を自分でコントロールできるようになっておくこと。
1分間片手挿管12回、灸トライアル2分間で14以上できるようにしておく事。
積極的に補習に参加し、技術を磨いていくこと。

《履修に当たっての留意点》

少しずつ基礎から応用に変わっていき、より臨床に近づくので興味を持って受講して下さい。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	基礎鍼灸実技Ⅲの学習内容について説明できるようになる。 灸頭鍼の説明、艾球を作れるようになる。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 【特殊鍼法Ⅰ】　灸頭鍼① ≪片手挿管トライアル・灸トライアル≫		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	練習台に刺入した鍼に艾球を取り付けることができるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】　灸頭鍼② ≪灸トライアル≫		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	練習台を用いて艾球の取り付けのバランス調整を確認し、適切な距離と大きさの灸頭鍼をできるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】　灸頭鍼③(灸頭鍼チェック)		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	お互いの腰背部・腹部で灸頭鍼点火までできるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】 灸頭鍼④ ≪片手挿管トライアル≫		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	お互いの身体に複数の灸頭鍼を点火できるようになる。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅰ】　灸頭鍼⑤ ≪灸トライアル≫		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	通電療法について説明できるようになる。 上肢・下肢への通電療法が安全に行えるようになる。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅱ】　通電療法① ≪灸トライアル≫		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰背部への通電療法が安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅱ】　通電療法② ≪片手挿管トライアル≫		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身への通電療法が安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅱ】 通電療法③（通電療法チェック）		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	小児鍼について説明ができるようになる。 全身への小児鍼治療ができるようになる。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅲ≫　小児鍼 ≪灸トライアル≫		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	皮内鍼・円皮鍼について説明ができるようになる。 皮内鍼・円皮鍼の使い方を理解する。	配布プリント 鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅳ】 皮内鍼・円皮鍼① ≪灸トライアル・片手挿管トライアル≫		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身へ皮内鍼・円皮鍼を安全に貼り付けることができるようになる。 耳鍼について理解し、実践及び説明ができるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	【特殊鍼法Ⅳ】　皮内鍼・円皮鍼②　、　耳鍼 ≪灸トライアル≫		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	洞刺、坐骨神経刺鍼等、特殊部位への刺鍼を安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	解剖学的特殊部位への刺鍼練習 ≪灸トライアル・片手挿管トライアル≫		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	身体異常反応の捉え方、つまみ押手、横刺を理解し、肩背部への施術を安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	肩背部への施術 ≪灸トライアル≫		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	第1回から第13回までの授業内容を踏まえて安全に施術できるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	総合実技練習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期にて学習した内容を所定の時間内で安全に行えるようになる。	鍼灸道具	積極的に放課後の実技補習に参加し、練習すること
		各コマにおける授業予定	前期授業内容のまとめ		